

授業科目名(英文名)	構造解析特論A (Structure Analysis A)			
担当者名	山下 彰彦			
学年	1	学期	前期	必修選択
教科書	教員から配布する(本、プリント)。			
目的または到達目標	C言語の文法が理解できるようになる。 C言語の簡単なプログラムができる。 連立1次方程式の解法のアルゴリズムを理解してプログラミングで記述できる。			
授 業 内 容	<p>情報アルゴリズムの内容である。授業名を構造アルゴリズムに変更する事務処理中。</p> <p>C言語の文法(変数と定数とプログラミング・・・第1回目と第2回目と第4回目と第9回目と第10回目第9回目)</p> <p>行列演算を含む線形数学・・・第3回目と第5回目と第7回目と11回目と12回目</p> <p>連立1次方程式のアルゴリズムとプログラミング・・・第6回目と第8回目と第13回目と第14回目と第15回目</p> <p>期末試験・・・第16回目)</p>			
関連科目				
受講心得	C言語の文法を授業で取り扱いますが、授業の30%程度で、30%は線形数学をやります。残り40%は連立1次方程式を解くアルゴリズムとプログラムを扱います。そうすると、情報メディア学科のように学部でC言語を学ぶ科目があった方はいいと思うのですが、そうでない方は授業時以外にもC言語の文法書を勉強していく必要があります。			
課題・質問等の受付方法				
授業の形式				
履修上の注意または履修条件				
成績評価の方法				
参考文献及び指定図書				